

# 第3回フォーラム

## 生活産業部会

2023年下期の振り返りと今後の展望

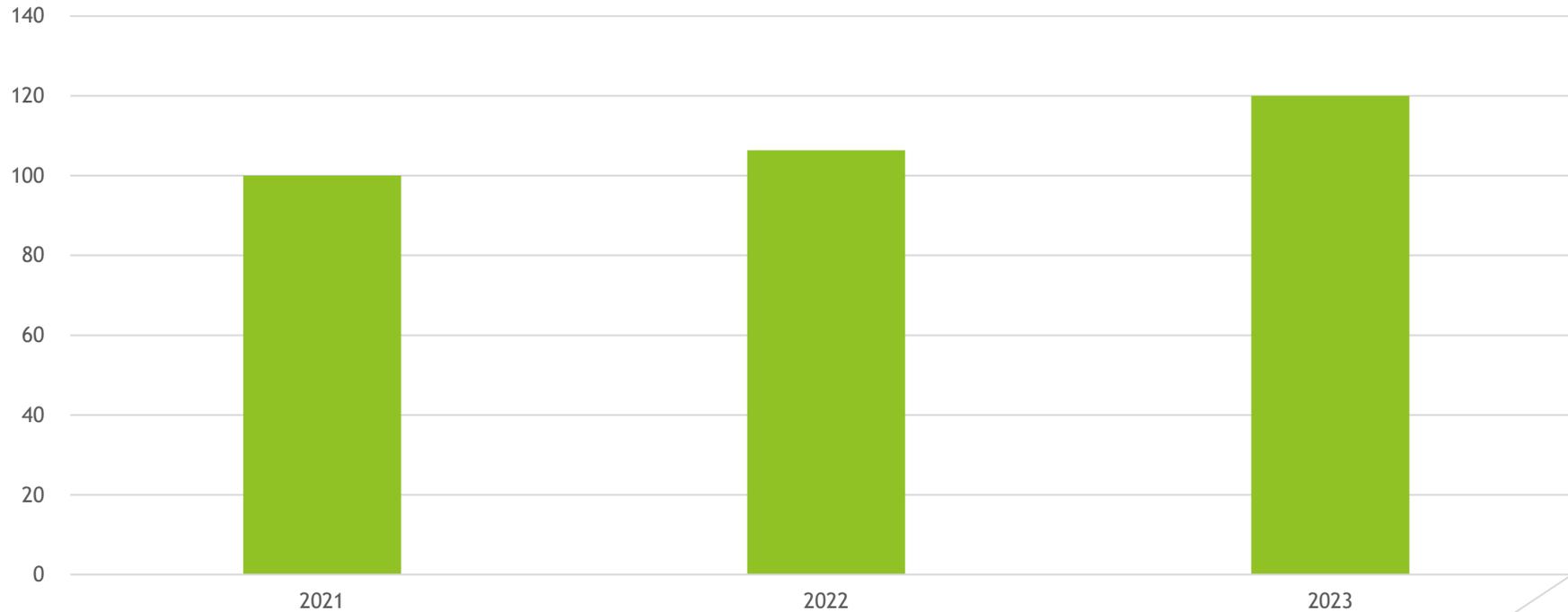
2024年3月20日

## 本日の内容

- ▶ 1. 建設・不動産・エネルギー関係の2023年下期振り返り
- ▶ 2. 繊維関係の2023年下期振り返り
- ▶ 3. 建設・不動産・エネルギー関係の2024年通期展望
- ▶ 4. 繊維関係の2024年通期展望
- ▶ 5. ブラジル民間投資拡大の可能性  
～現地市場ニーズの取り込みに向けて～（各社意見）
- ▶ 6. 建設関連トピックス（ブラジルのホームセンター）
- ▶ 7. 繊維関連トピックス（

# 1. 建設・不動産・エネルギー関係 2023年下期振り返り

受注金額



# 1. 建設・不動産・エネルギー関係 2023年下期振り返り

## <建設関連>

- ・ 2022年下期と比較して大きな受注の変動はなし
- ・ 建設物価の上昇を反映して受注高は上昇

# 1. 建設・不動産関係 2023年下期振り返り

## <不動産関係>

### 売買市場

- ・ 投資物件の転売相談が微増も価格は高止まり
- ・ 1～2 寝室の小型新築物件は在庫過多

### 賃貸市場

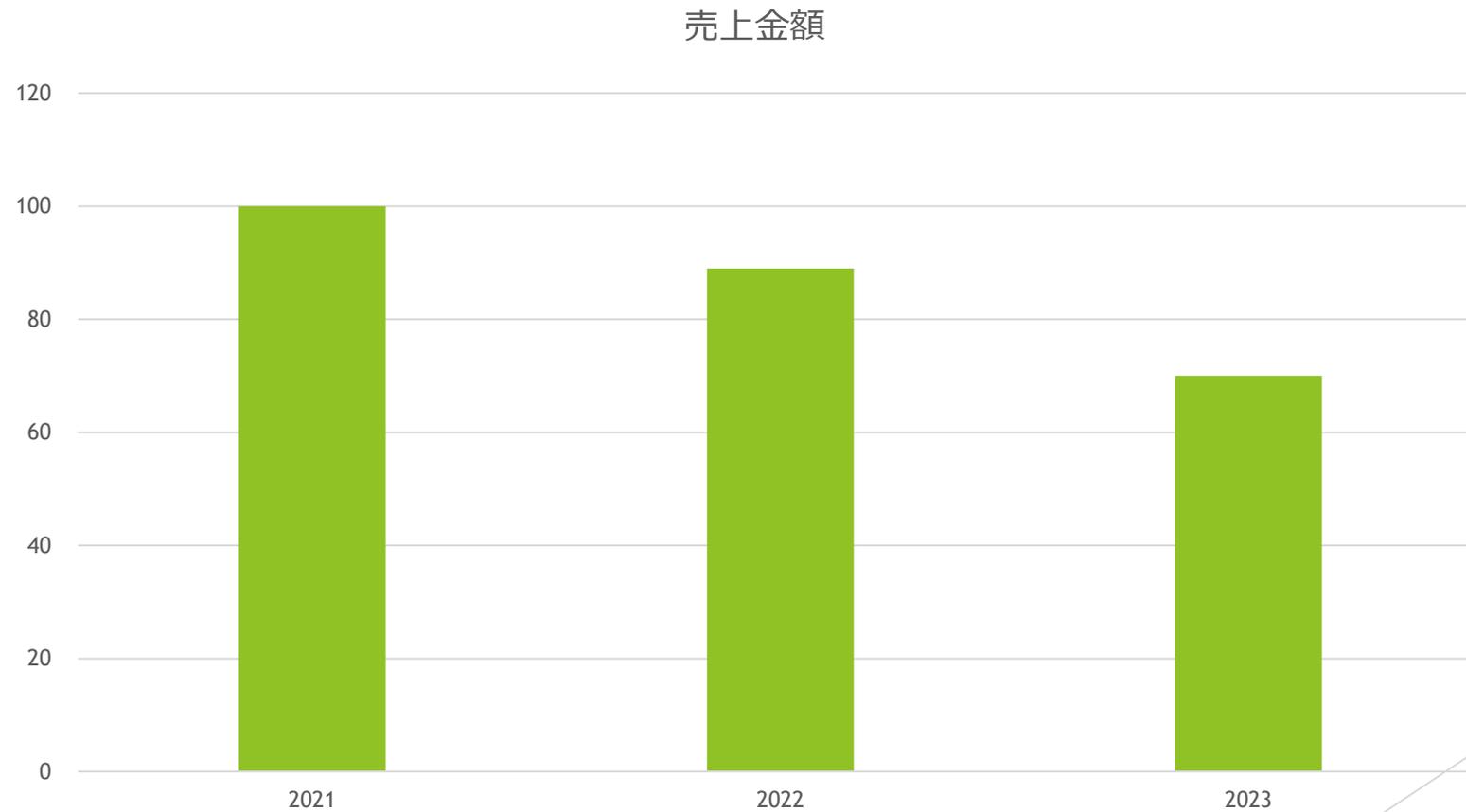
- ・ 新築物件が賃貸市場に投入（Jardin、Paraiso）
- ・ ファミリー物件は以前より日本人需要旺盛

# 1. 建設・不動産関係 2023年下期振り返り

## <エネルギー関係>

- ・ 受注件数には大きな変動は無し
- ・ 大規模プロジェクトの受注により金額ベースは大幅増加

## 2. 繊維関係 2023年下期振り返り



## 2. 繊維関係 2023年下期振り返り

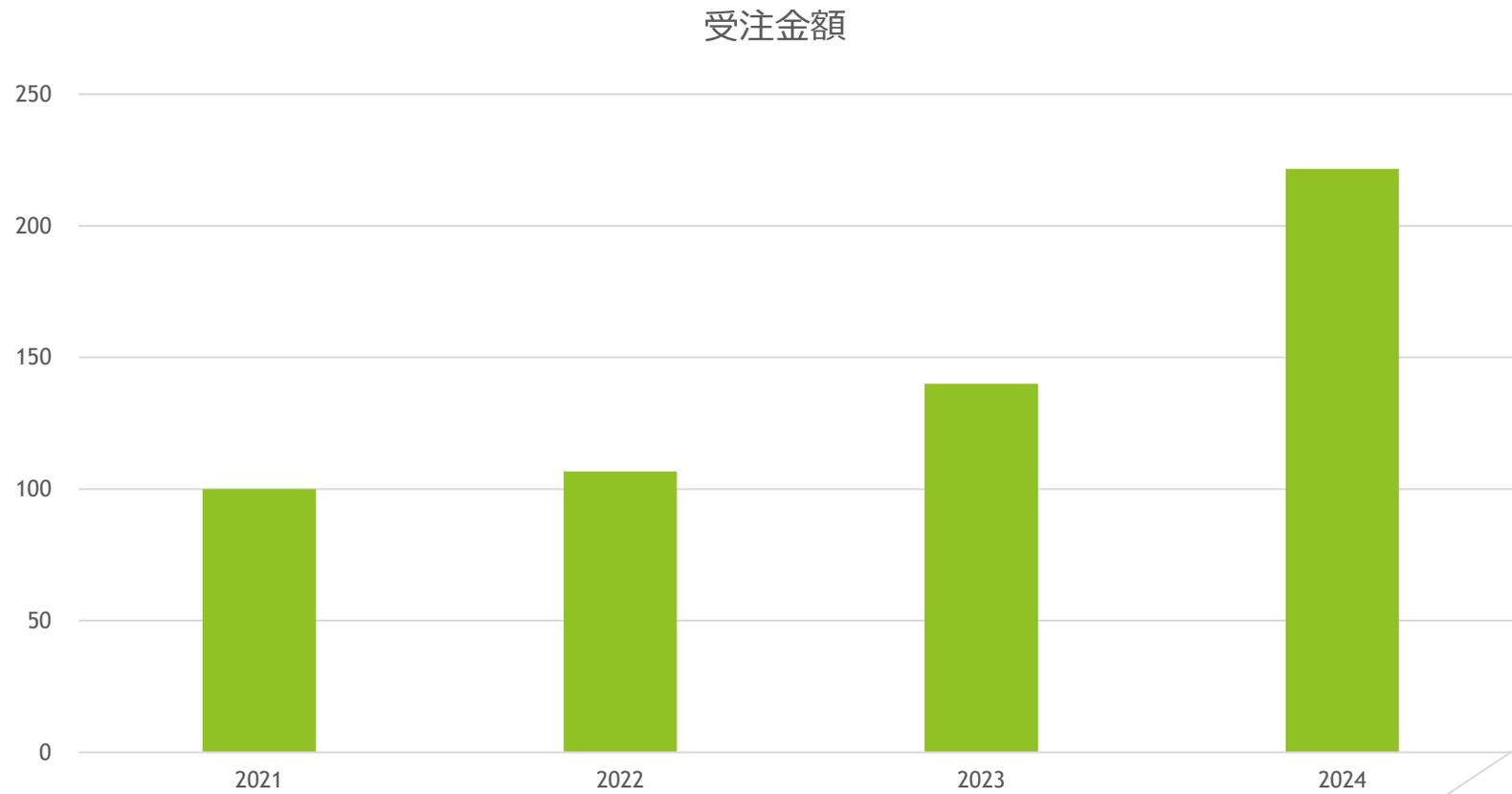
- ・ 発注量の減少

2022年で昨年比減少した数量回復が思ったほど伸びず

- ・ 販売単価下落の継続

原綿単価の下落、および市況の盛り上がりにより  
欠けたことから、販売単価も下落

### 3. 建設・不動産関係 2024年通期展望



# 3. 建設・不動産関係 2024年通期展望

## <建設関係>

- ・ 工事案件の大型化による中小建設会社との差別化が進んでいる。
- ・ 価格以外の品質・工期・安全等が期待されている
- ・ ブラジルの政治・経済の安定による投資拡大期待

# 3. 建設・不動産・エネルギー関係 2024年通期展望

## <不動産関係>

### 売買市場

- ・ 政策金利低下見通しが不動産への新規投資を生む期待がある。
- ・ 自己住居向けの新築希望者案件が増加

# 3. 建設・不動産関係 2023年通期展望

## <不動産関係>

### 賃貸市場

- ・ 小型物件の賃貸ニーズが戻ってきている印象
- ・ 新築物件の賃貸価格も適正水準が多い
- ・ パライゾ・ジャルジン地区はローカル需要が高い

# 3. 建設・不動産関係 2023年通期展望

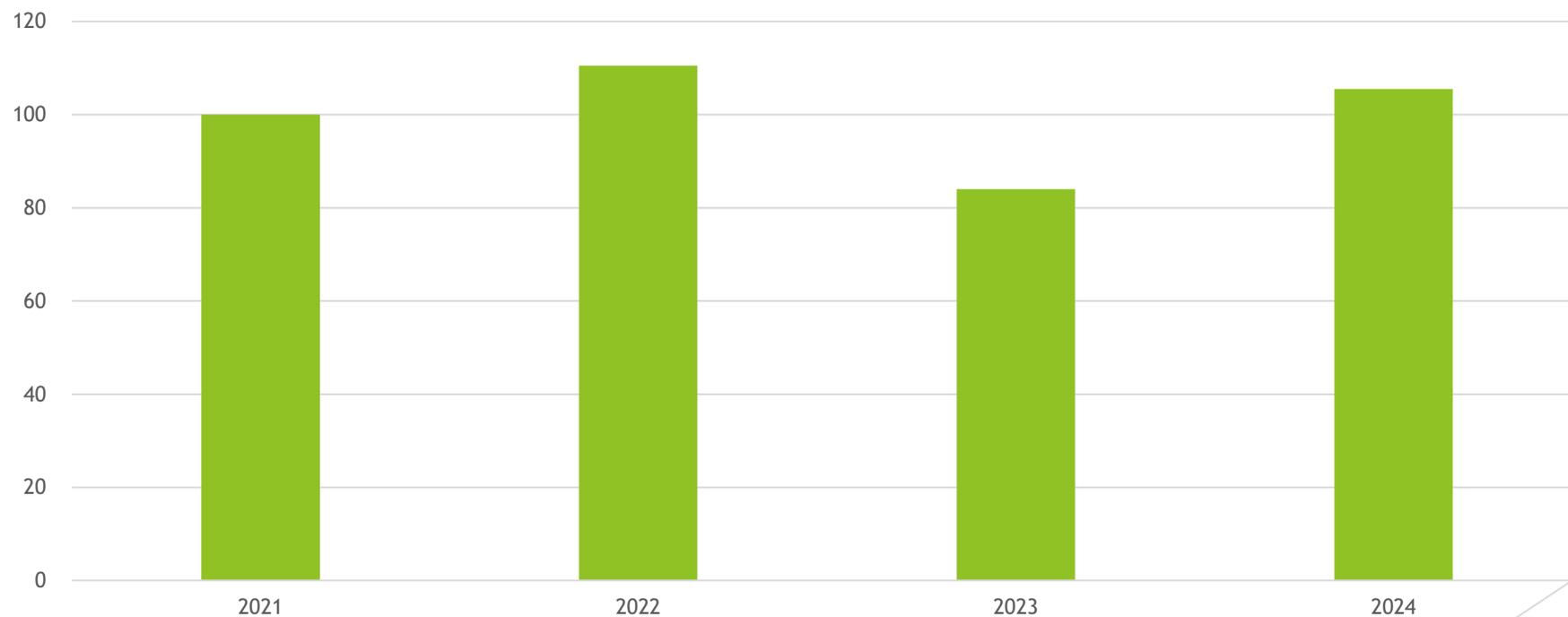
## <エネルギー関係>

- ・ 大型案件の増加が受注価格を引き上げている
- ・ 既存客先の設備拡張・事業地域拡大に期待
- ・ 新サービスを含めた機能先鋭化による新規顧客  
開拓

# 4. 纖維關係

## 2024年通期展望

売上金額



## 4. 繊維関係 2024年通期展望

- ・ 金利が低下傾向にあることから、消費者需要の伸びが期待される
- ・ 2023年度でアパレルの在庫調整が進んだことも好材料
- ・ 2月以降の原料価格上昇が懸念材料

# 原綿相場の動き

ブラジル国内綿花相場



# 5. ブラジル民間投資拡大の可能性 ～現地ニーズの取り込みに向けて～

## <建設・不動産・エネルギー関係>

- ・ 大型工事施工対応  
エンジニアリングや技術力の強化や新工法の展開が必要
- ・ 効率的な施工体制  
最善の人員配置が重要
- ・ 日系建設会社の特色  
巧みな工程管理

## 5. ブラジル民間投資拡大の可能性 ～現地ニーズの取り込みに向けて～

### <建設・不動産・エネルギー関係>

- ・円安が続く日本でのインバウンド不動産購入や事業展開を考えるブラジル企業に対する、ワンストップ対応のスキーム作り、サポート環境の整備が求められる。

## 5. ブラジル民間投資拡大の可能性 ～現地ニーズの取り込みに向けて～

### <建設・不動産・エネルギー関係>

- ・ 国内のCap & Tradeやカーボンプレジットの動きに加えて、EUの国境炭素税導入により、脱炭素やEnergy Efficiencyの注目が高まっている。
- ・ エネルギー転換のニーズも増えており、脱炭素を主目的とした新規投資も増加傾向。

## 5. ブラジル民間投資拡大の可能性 ～現地ニーズの取り込みに向けて～

### <繊維関係>

- ・ 現地市場ニーズを取り込むために
  - ① 中国からの個人を含む輸入増加の対応策検討
  - ② 輸入品にはできない優位性のアピール

輸入増が国内生産減とならないよう、業界全体として取り組んでいく必要がある。

## 6. ブラジルのホームセンター事情

有名な店はTELHA NORTE店、C&C店、  
LEROY MERLIN店、SODIMAC店



## 6. ブラジルのホームセンター事情

- ・サンパウロ市内では、マルジナル通り近くに点在している。
- ・大きな駐車場が特徴。
- ・中小の工務店、個人営業の大工や業者、そして住宅工事中のファミリーなどが利用。

## 6. ブラジルのホームセンター事情

- ・ 主な取扱品は、建材・仕上げ材・塗装・建具・工具・流し台・衛生陶器・電気材料・照明・給排水器具・ガーデニング等。
- ・ 日本のホームセンターと比べ、広範囲な品種は扱っていない。

## 6. ブラジルのホームセンター事情

- ・ ブラジルでは、店で資材や部品を買ってきて、大工・業者に渡して造ってもらうケースが多い。つまり、DIYを行う人は少ない。
- ・ 比較的安価で手に入るものが多いものの。品揃え、ストックは少なめ。

## 7. リジェネラティブ農業について

- 日本語では『環境再生型農業』『再生農業』と言われており、土壌を修復・改善しながら自然環境の回復につなげることを目指す農業。
- サステナブルとリジェネラティブの違いは、  
サステナブル：環境変化±0  
リジェネラティブ：環境を+にする

# 7. リジェネラティブ農業について

## ▶ 具体的な例

1. 不耕起栽培
2. 被覆作物の活用
3. 輪作
4. 合成肥料の不使用

# 7. リジェネラティブ農業について

## ▶ リジェネラティブコットンの現状

- 数量は極めて少ない
- リジェネラティブオーガニックコットンは年間2000トンほどの生産
- ほとんどはアパレルメーカーによる契約生産

## 7. リジェネラティブ農業について



- ▶ 現状は、イギリスの“regenagri”という団体の基準によって認証作業が行われている。

これまでの、オーガニックコットン、フェアトレードコットン、Better Cotton Initiativeなどに続く新しい流れとして注視が必要。

ご清聴ありがとうございました